

熊本地域医療センターだより

院長 杉田裕樹

令和4年(2022年)7月発行

通算207号

熊本地域医療センター電話番号(代表) 096-363-3311 FAX 096-362-0222

〒860-0811 熊本市中央区本荘5丁目16番10号

2022 8 月号

熊本地域医療センター 理念

かかってよかった。
紹介してよかった。
働いてよかった。
そんな病院をめざします。

contents

- わかりやすい診療部紹介 ~消化器内科~… P1
- わかりやすい部門紹介 ~看護部~ …… P2
- 新入職員挨拶…………… P3
- 「友達の輪~Relayトーク 第18弾」…………… P4

わかりやすい 診療部紹介

~ 消化器内科 ~

内視鏡検査部長 はらおか 原岡 かつき 克樹



消化器内科の原岡です。
1997年に第一内科に入局し、
2015年4月に当院へ赴任し、
今年で8年目を迎えました。

医師会の先生方の日常診療
において、緊急治療や精査を
要する患者様の最も多くを占
める分野が消化器疾患と思わ

れますが、いつも数多くの患者様をご紹介戴きます
ことを、この場を借りて深謝申し上げますとともに、
私たちの普段の診療内容についてもご紹介させて頂
きたいと思えます。

現在、非常勤のレジェンド清住雄昭顧問を筆頭に、
いぶし銀部長の田村文雄先生、好奇心旺盛の私、
オールラウンダー岩下博文先生のベテラン勢に加え、
若手勢は卓越した内視鏡技術の竹野洋司先生、胆膵
の次世代エース黒岩朋裕先生、丁寧な診療が持ち味
の柏田彩圭先生の常勤6名で構成されております。

私が赴任した当初は、胆膵疾患や急性消化管疾患
(吐下血/イレウス/腸炎)、内視鏡治療(EMR/
ESD)の患者様が主体でしたが、その後、重症肝疾
患や肝癌症例も数多くご紹介戴けるようになり、近
年は若手Drの肝臓への造詣も深く、肝障害/肝腫
瘍に対して肝と胆膵双方から迅速にアプローチでき
ることが当科の強みと考えております。また、炎症
性腸疾患については、現在の潮流であるバイオ製剤

はもちろん、今後注目が推測される青黛治療経験数
もおそらく県内随一であり、数多くの患者様を短期
間で粘膜治療へ導いております。進行がん分野にお
いても、消化管/胆道の金属ステント治療を積極的
に行い、術前から終末期緩和診療に至る幅広いニー
ズに対応し、在宅ケアへのマネージメントにも注力
しております。

以上のように、当科は全ての領域において、患者
様方にご満足戴ける医療を提供すべく日々邁進して
おりますが、最後に当科の代名詞とも言える胆膵治
療の現況についてご紹介申し上げます。

40年前に故服部正裕先生が最先端のERCP治療
を導入し、明石隆吉先生(現日赤健康管理センター)
や清住先生がその普及に尽力され、さらに2008年に
中原和之先生(現藤岡医院)が胆膵EUSを導入さ
れ、全国有数の胆膵鍛錬施設になりました。現在は
私と岩下が先人達の垂訓を引き継ぎ、再建腸管を含
むERCP症例の治療内容を拡充し、少ない回数で
の治療完遂を実践しております。また、豊富な
TACE経験を活かした血管構築に基づいたEUS観
察や独自技法による効率の良いFNA、ERCP困難
例や仮性嚢胞に対するEUSドレナージに加え、経
皮穿刺術にも習熟しており、ERCP・EUS・経皮治
療のいずれにも対応できる体制としておりますので、
緊急症例はもちろん、全身状態不良の患者様につ
いてもお気軽にご相談戴ければ幸いです。

新ユニフォーム2色制 「バーガンディとピーコックグリーン」から「ロゼとネイビー」へ

看護部長 よしだ 吉田 せつこ 節子



「バーガンディ」と「ピーコックグリーン」の2色のユニフォームも4年毎の更新で2013年より2021年度で2期8年が過ぎました。もはや、この2色は地域医療センター看護部のシンボルカラーともいえます。そして、2022年度は3回目の更新を迎えましたがリニューアルする

ことにしました。本来ならば4月に看護師全員が新ユニフォームとなるはずでしたが、コロナの影響や諸々の事情で新入職の看護師は4月より、それ以外のスタッフは7月からとなりました。

ユニフォームの選定において、まずは、情報収集からスタートしました。「ユニフォーム2色制」の知名度により、メーカーさんの注目度も高く、何故かプレッシャーのようなものを感じながら、いくつかの要望を伝えました。デザインや機能性など年代や性別が違うスタッフの誰が着ても似合うデザイン、そして大事な要素である体型を問わないもの、また老朽化した建物に対し明るく元気に見える配色・デザインであることを要望しました。どのメーカーもデザイン、機能性など、どれも素晴らしいユニフォームを提案してくださいました。

次のステップでは、新ユニフォームも「ユニフォーム2色制」の目的の継承が重要と考え、前回同様に全員参加の意思決定に価値をおくことにしました。そこで、次世代を担う主任看護師会にバトンを渡し、新ユニフォーム選定の運営を任命しました。主任会では、デザインだけでなく機能性やポケット等の小物の活用などを確かめ3タイプに絞り込み、各2色ずつを選びました。そして、コロナ禍で忘年会のような全職員にお披露目する機会はありませんでしたが、終業後のわずかな時間を使って、各部署の代表者によるプチファッションショーを行いました。自薦・他薦で選ばれた6人のモデル看護師が6階ホールでランウェイを歩き、駆けつけた日勤スタッフが盛り上げてくれました。その後、新館3階のエントランスに展示し、ファッションショーの様子は、期間限定で全看護職員へYouTubeで配信をしました。そして最後は、投票用紙を各看護単位に配布し各自デザインに1票を投じ、同時に2色のうち日勤の色を選んで投票をしました。今回の投票権は看護師に限定しましたが、ユニフォームの展示期間、医師をはじめする色々な職種が各ユニフォームを着用したトルソーの前で立ち止まり、色々な感想



が聞かれコミュニケーションのツールとしても楽しむことができました。結果は、3票という僅差で決定しました。何故か、日勤の色はこれまでのバーガンディに近いロゼ、夜勤は、落ち着いたネイビーとなりました。ちなみにネイビーという深みのある落ち着いた色合いは英国では「勝利の色」といわれ、色彩学では引き締まって落ち着いて見える色です。また、信頼や信用、誠実、知性や上品さなどのイメージを演出してくれるそうです。個人的には、日勤にネイビーを望んでいましたが、昼間に選ばれた色は圧倒的にロゼでしたので受け入れるしかありません。

「ユニフォーム2色制」の目的は、onとoff（勤務と非勤務）を区別することで、引継ぎをスムーズにすることです。また、医師をはじめとする多職種や患者さんが時間軸で容易に看護師を探すことができることや指示を伝える看護師を区別できるなどの効果があります。「ユニフォーム2色制」だけではスムーズなバトンパスとはいきませんが、新ユニフォームにも2色制誕生の歴史を吹き込み、そして未来に向けて発展できるよう願いながら袖を通していきたいと思っています。「ロゼ」と「ネイビー」今後とも、よろしくお願いいたします。



新入職員挨拶



薬剤部
しらはし よしき
白橋 佳樹

はじめまして。令和4年5月より入職しました、薬剤師の白橋佳樹と申します。

入職してあつという間に1ヶ月が経ちました。新しい環境で慣れないことも多く、まだまだ分からないことも覚えることもたくさんありますが、先輩方の丁寧なご指導のおかげで毎日様々なことを学ぶことができています。

現在は主に内服薬及び注射薬の調剤業務を行っています。取り扱う薬の種類も多く、自分の知識と経験不足を痛感する日々です。大学時代に勉強し、知識を蓄えてきたつも

りでしたが、実際の現場ではわからないことや説明できないことがたくさんあります。「なぜこの薬が処方されているのか」、「薬物相互作用の問題はないか」など、疑問は山ほどありますが、現場での経験を積みながらそれらの疑問にも答えられるように薬剤師として少しずつ成長していきたいです。

今後とも何かとご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、一日でも早く仕事を覚えてお役に立てるよう頑張ります。ご指導のほどよろしくお願い致します。



薬剤部
たけした まゆ
竹下 真由

はじめまして。令和4年4月より入職しました、薬剤師の竹下真由です。

入職当初わからないことばかりで不安でいっぱいでしたが、薬剤部の雰囲気も良く優しい方ばかりで丁寧に指導していただき嬉しく思っています。まだまだ分からないことが多く知識不足を痛感しておりますが、お忙しい中でも先輩方がわかりやすく教えていただき日々学ばせて頂いています。現在は薬局内での業務を中心にしており、患者さんと直接関わる機会は少ないですが、薬を通して患者さんの命と関わることの責

任の重さを感じています。幼少期からの夢であった薬剤師になれて嬉しいのですが、まだ自身の目指す薬剤師像がはっきりしていません。これから自身の目指す薬剤師像を見つけるためにも当院で幅広い多くの知識を身につけ経験を積み日々成長していきたいです。

今後何かとご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、1日でも早く薬剤師として貢献できるよう頑張ります。ご指導のほどよろしくお願い致します。



薬剤部
ふじさき みゆ
藤崎 美有

はじめまして。令和4年5月より薬剤部に入職いたしました藤崎美有と申します。出身は鹿児島県で、熊本に住み始めて7年目となります。趣味は山に登ることで、先日、中岳および高岳を踏破いたしました。いつか阿蘇五岳を完登したいと考えております。

さて、入職してから早1ヶ月が経ちました。未だにわからないことが多く、環境や業務に対する不安を感じることはあります。しかし、先輩方に丁寧な指導をしていただき、段々とできる業務が増えて、忙しくも

ありますが充実した毎日を送っています。今後は、先輩方と肩を並べることができるように、業務を通じて日々勉強をし、知識や技術を習得に励み、薬剤師としての経験を積みたいと考えております。

まだまだ未熟者であるため、スタッフの皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、熊本地域医療センターの一員として、医療に貢献できるよう励んでまいります。ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い致します。

「友達の輪～Relay トーク 第18弾」

唐木クリニック からき 唐木 まさゆき 将行



医師会会員の皆様、はじめまして。熊本市中央区琴平本町で開業しました唐木将行です。私は旧香川医科大学を卒業し、香川では29年間生活しました。その後、とある縁で熊本に転居し、開業までの4年半は新市街の田中耳鼻咽喉科（現在、くまもと令和クリニック）にて勤務していました。

アレルギー性鼻炎、鼻中隔湾曲症、慢性副鼻腔炎（好酸球性副鼻腔炎や真菌症）、良性腫瘍（乳頭腫や血管腫など）の鼻科領域の手術を主に行う手術クリニックとして平成31年1月23日に開業いたしました。

当院は現在、耳鼻科医3名体制で診察を行い、平日は全て午前・午後の診察を行い、土曜日のみ午前診察を行っております。外来診療は耳鼻咽喉科領域全般に行っております。

当院の一番の特色である鼻科領域手術は平日の月曜日から金曜日は毎日行っております。ほとんどの症例を全身麻酔下に行う様にしております。無床診療所のため、入院は出来ないため、手術後の患者さんはリカバリー室で数時間観察の後、帰宅していただく様にしております。遠方の患者様にはご迷惑をおかけしておりますが、近隣の親戚、知人宅などに宿泊していただくか、近隣の宿泊施設を案内させて

いただいております。

地域医療センターには入院が必要な患者さんをお受けしていただき、また、全身麻酔の検査、病理組織検査など検査一般を検査センターにて行っていたいております、感謝しています。

2019年2月6日に手術開始して以降、3年5ヶ月経過した7月6日現在、1035例の患者さんに対して鼻手術を行っております。手術を希望される患者さんが徐々に増加してきたため、現在3ヶ月程度お待ちいただく様になっているため、今後はより効率の良い運用を構築して、手術待機期間の短縮に務めたいと思っております。

私の趣味は、トライアスロンとマラソン、自転車です。トライアスロンは先日開催された天草トライアスロンに参加させていただきました。戦績は振るいませんでしたが、楽しく完走できました。（年代別9位）

熊本城マラソンも3年ぶりの開催（2023.2.19）が決定し、エントリー予定です。最後の結果が3時間21分だったので、3時間20分以内の完走を目指して頑張ります。早朝、花岡山周辺で見かけた際は、是非お声かけください。皆様今後ともよろしくお願い致します。

次回はいでた平成眼科の出田隆一先生にお願いしました。出田先生とはバイクのライドでお世話になっております。それでは、出田先生よろしくお願い致します。

熊本地域医療センター勉強会のお知らせ

日時／2022年9月26日(月) 19:00～20:00

形式／ハイブリッド方式 オンライン参加 or 会場参加
オンライン参加：ZOOM 会場参加：2階多目的ルーム

申し込み方法／kumamotochiiki@gmail.com（※1）まで

メールにて「所属医療機関名」および「氏名」を記載し、お送りください。（後日、詳細な参加方法についてご案内いたします。）

- ※8月の勉強会は開催いたしません。次回は9月開催予定となっております。
- ※会場参加を希望される方は、事前にお申し込みください。人数制限によりご案内できない場合がございます。
- ※予定が変更になる場合がありますのでご注意ください。



①症例報告

『Conversion surgery を施行した局所進行
腺癌の一例』

外科 富田 真裕 医師

②特別講義

『当科における胆膵疾患治療の実際』
CCO：その他

消化器内科 岩下 博文 医師

熊本地域医療センター

■医師へ直接紹介される方はこちら

☎096-363-3311 (代表)

■何科に紹介するか迷っている場合はこちら

※ベテラン看護師が対応いたします！

(平日9:00～17:00) ☎096-372-0600

■画像診断・内視鏡などの検査予約はこちら(連携室)

☎096-366-1323

編集後記

Y 友達の輪～Relayトーク第18弾は、唐木将行先生です。コロナ前、医師会の懇親会でご挨拶したときに、「すごいランナー医師がいる」と驚いたことを思い出します。周術期にも当センターをご利用いただきありがとうございます。

K 育児休業明けでFさんが連携室に戻ってきました。頑張り屋さんで、笑顔がかわいく、よく笑う元気な2児のママです。毎日、暑い日々が続いておりますが、彼女は爽やかな風をもたらしてくれます。どうぞよろしくお願い致します。

H 蒸し暑い日が続いており、家の中の湿度がとんでもないことになっています。昨年、梅雨の時期に除湿機を購入しましたが、今年は別の部屋用にもう一台購入し、二台体制で毎日フル稼働です。あるのとないのでは、過ごしやすさが全然違います。